

茅ヶ崎市保健所管内感染症情報

令和8年第23週（令和8年6月1日～令和8年6月7日）

〇県内で麻疹（はしか）患者の発生が確認されています。

2026年1月以降、神奈川県内では麻疹患者が48例(令和8年6月4日現在)報告されています。

麻疹ウイルスは感染力が強く、空気感染するので、手洗い、マスクのみで予防できません。感染すると10～12日の潜伏期間を経て、発熱、せき、鼻水など風邪のような症状が現れ、2～3日発熱が続いた後に、39℃以上の高熱と全身に赤い発疹が出ます。

麻疹と思われる症状が見られたら、必ず事前に医療機関に連絡し、麻疹の疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従い受診しましょう。受診時は、周囲への感染を防ぐために、公共交通機関の利用を避けてください。

予防には、ワクチン接種が最も有効です。我が国では、1歳時及び5歳時（小学校入学前の1年間）に定期接種として麻疹の予防接種を行っています。ご自身の予防接種歴をご確認いただき、まだ接種されていない場合は、麻疹風しん混合ワクチン（MRワクチン）の接種をご検討ください。

【全数把握対象疾患】

	診断（第23週）（件数）	累計（令和8年第1週以降）（件数）
一類感染症		
二類感染症		結核(6)
三類感染症		
四類感染症		A型肝炎(1), レジオネラ症(4)
五類感染症		アメーバ赤痢(1), 侵襲性肺炎球菌感染症(3), 水痘(入院例)(1), 梅毒(4), 百日咳(7)

【定点把握対象疾患】

→一休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）

	医療機関	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
小児科	A	0	0	0	0	1	4	0	15	0	3	0	1
	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C	0	0	0	0	2	1	1	1	0	2	0	0
	D	0	0	0	0	0	5	2	0	0	1	0	0
内科	E	0	0										
	F	0	0										
	G	0	0										
	合計	0	0	0	0	3	10	3	16	0	6	0	1
	定点当たり	0	0	0	0	0.75	2.50	0.75	4.00	0	1.50	0	0.25

	医療機関	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
眼科	H	0	2
	I	0	0
	合計	0	2
	定点当たり	0	1

茅ヶ崎市保健所管内における上位3疾患

	疾患名	今週	先週
1	手足口病	16	11
2	感染性胃腸炎	10	23
3	突発性発しん	6	2

【急性呼吸器感染症（ARI）】

	医療機関	急性呼吸器感染症
小児科	A	190
	B	32
	C	108
	D	88
内科	E	38
	F	7
	G	13
	合計	476
	定点当たり	68.00

【最近4週間の推移】

上段：報告数 下段：定点当たり報告数

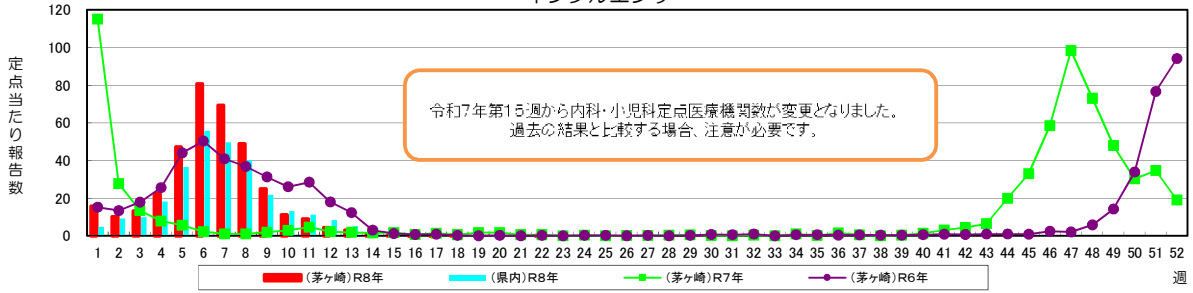
	疾病名	20週	21週	22週	23週	前週比
小児科	定点医療機関数	4	4	4	4	
	RSウイルス感染症	0	1	0	0	➡
		0	0.25	0	0	
	咽頭結膜熱	0	0	0	0	➡
		0	0	0	0	
	A群溶結性レンサ球菌咽頭炎	6	7	4	3	⬇
		1.50	1.75	1.00	0.75	
	感染性胃腸炎	25	18	23	10	⬇
		6.25	4.50	5.75	2.50	
	水痘	1	1	2	3	⬆
		0.25	0.25	0.50	0.75	
	手足口病	4	2	11	16	⬆
		1.00	0.50	2.75	4.00	
	伝染性紅斑	0	1	0	0	➡
0		0.25	0	0		
突発性発しん	2	3	2	6	⬆	
	0.50	0.75	0.50	1.50		
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	➡	
	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	1	0	0	1	⬆	
	0.25	0	0	0.25		
眼科 定点	定点医療機関数	2	2	2	2	
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	➡
		0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	0	0	1	2	⬆
0		0	0.5	1.00		
内科 (ARI) 定点	定点医療機関数	7	7	7	7	
	インフルエンザ	0	0	1	0	⬇
		0	0	0.14	0	
	新型コロナウイルス感染症	2	0	0	0	➡
		0.29	0	0	0	
	急性呼吸器感染症 (ARI)	444	411	434	476	⬆
63.43		58.71	62.00	68.00		

※急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

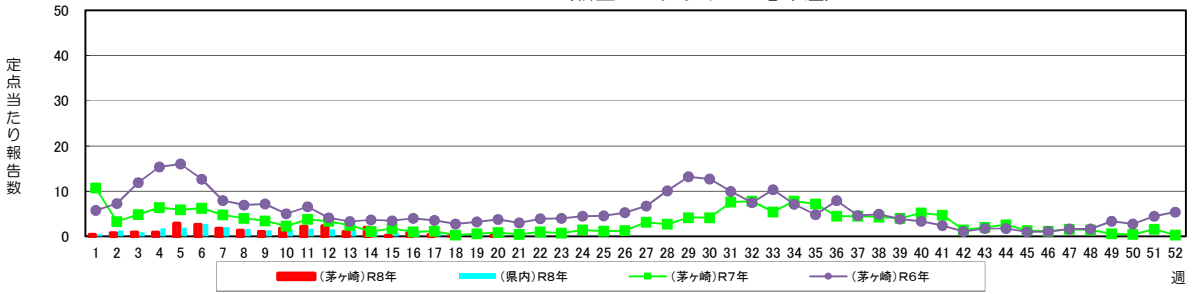
※前週比は、定点当たりの報告数を基に作成しています

→休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）

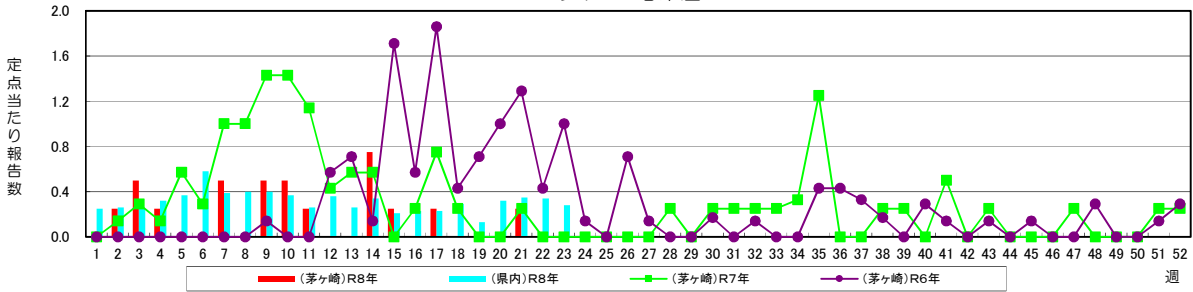
インフルエンザ



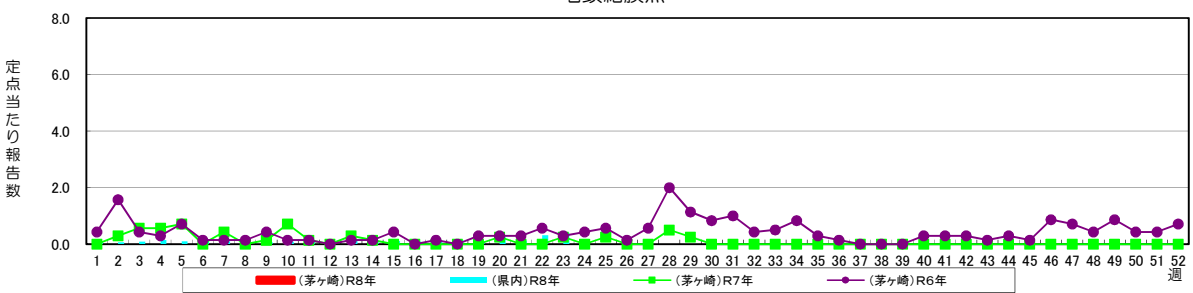
COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)



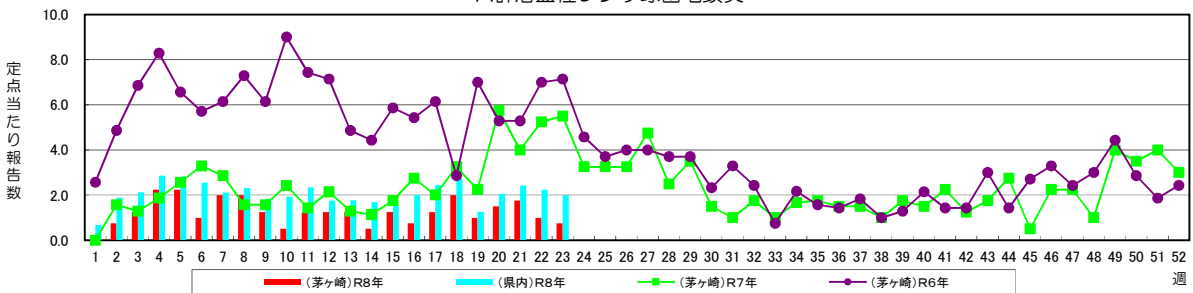
RSウイルス感染症



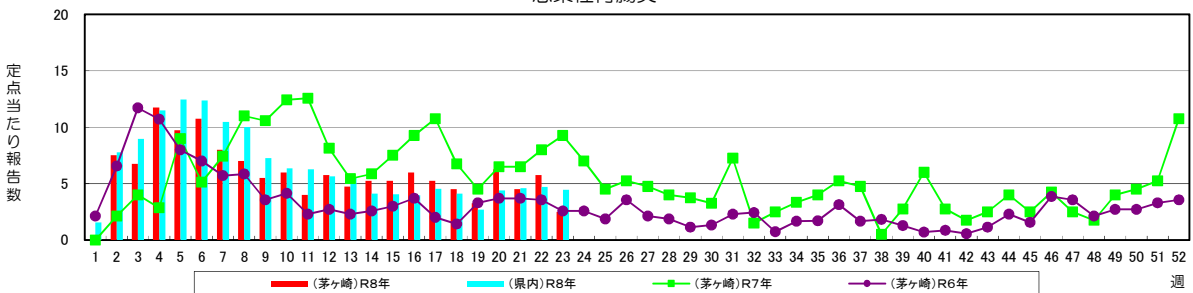
咽頭結膜熱

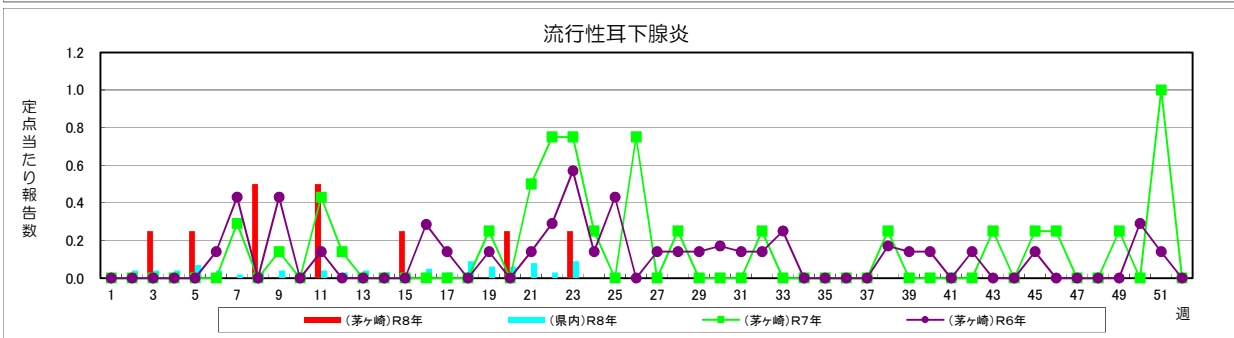
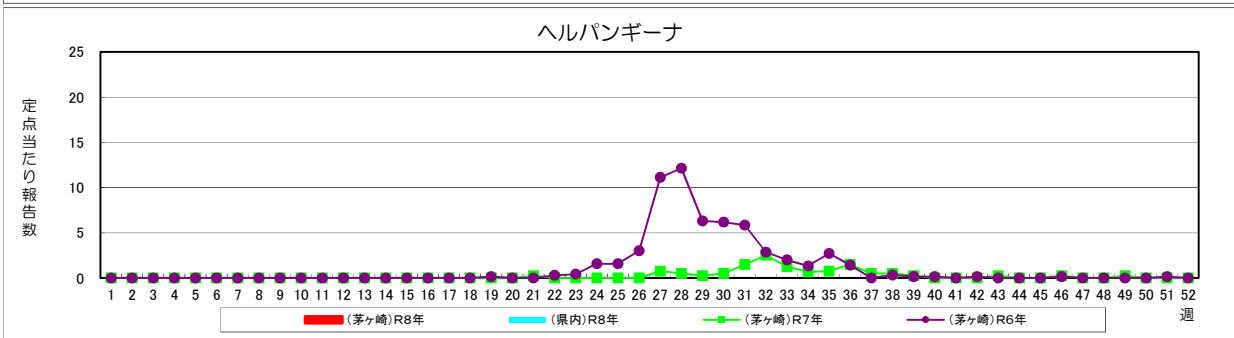
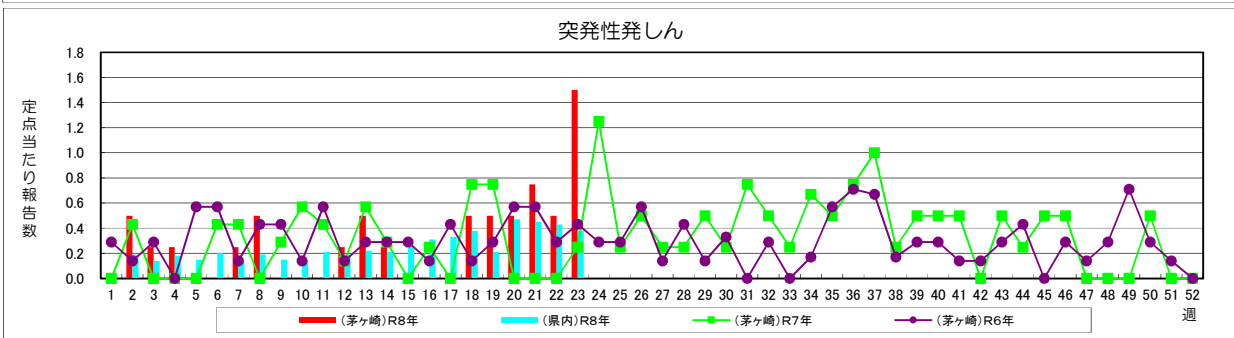
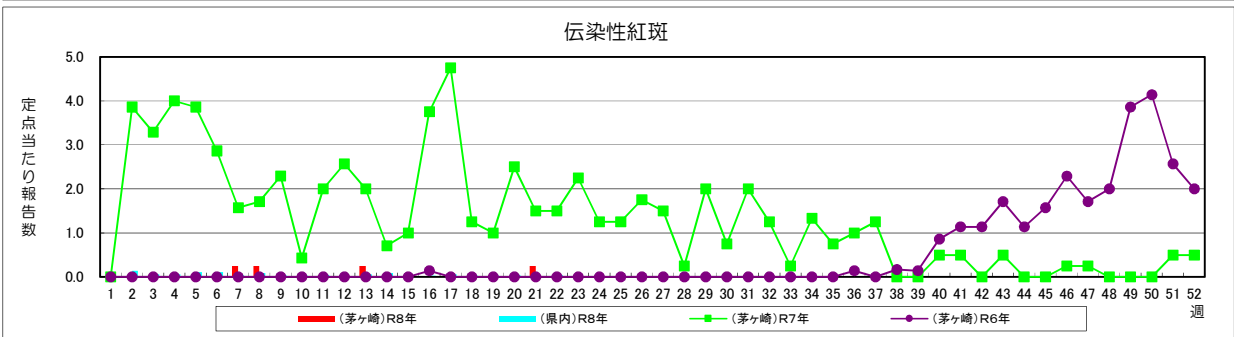
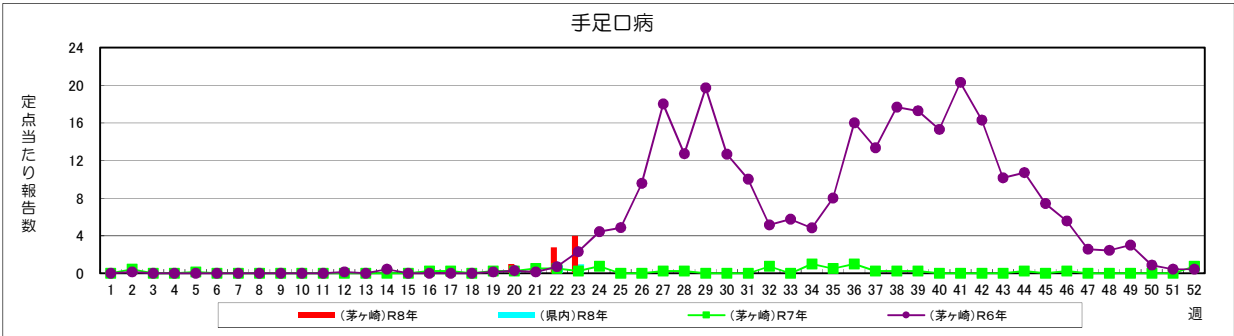
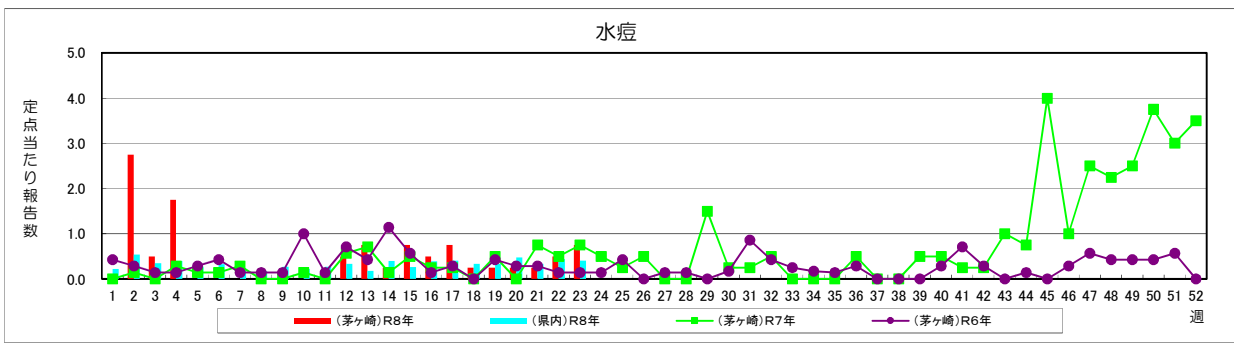


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

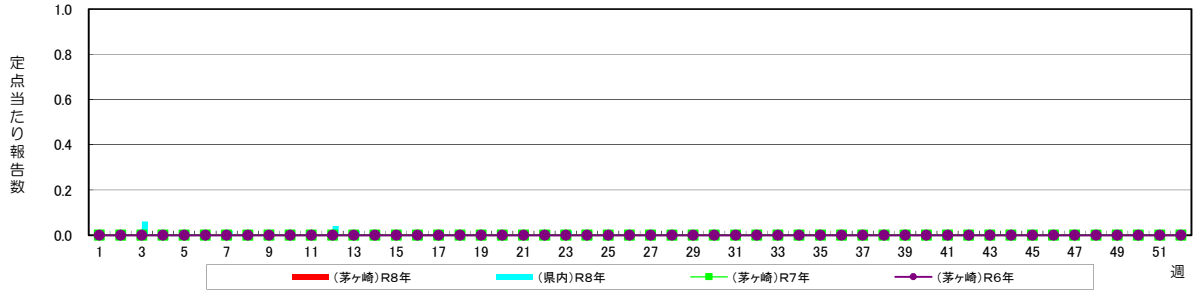


感染性胃腸炎

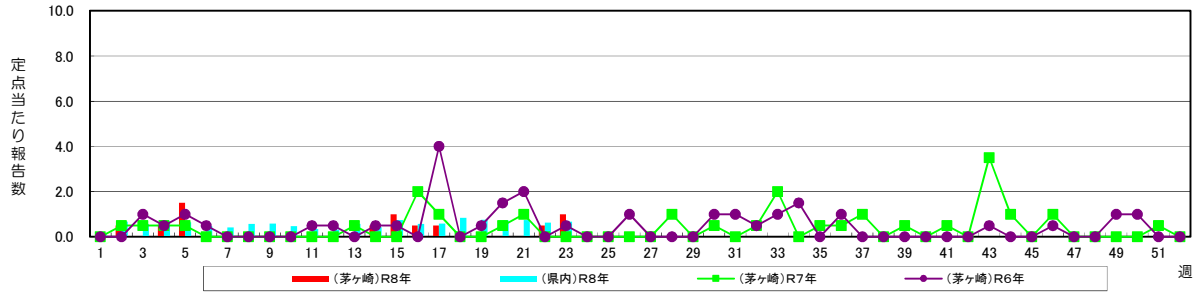




急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



急性呼吸器感染症(ARI)

